

# お金があれば不安は消えるのか 幸せなシニアライフとお金の距離

私は47歳になりまして、同世代で会社員の皆さんはそろそろ定年後のシニアライフを考え始めているようです。ある人から「iDeCo(イデコ)が得だよ」と勧められて関心を持ちました。「個人型確定拠出年金」という私的年金制度のことです。ざっくりいうと「お前のような落語家が老後の安心を思うのであれば、公的年金だけを当てにせず自分でも備えなさい。その代わり税金は優遇しましょう」というものです。

とはいえ、私はマネープランが得意ではありません。ただし節税はしたい、何しろ稼ぎが増えてきましたから、ね。思えば、お金があれば老後の不安は解消できるのでしょうか。

経済評論家の佐藤晴彦さんとある落語会で出会って、意気投合しました。佐藤さんの著書『しあわせとお金の距離について』(晶文社)はお勧めの一冊です。特に私と同世代のサラリーマンに読んでいただきたい本です。

この本は幸せな人生を送るためのヒントを、お金を軸につづったもので「守るだけでは楽しい老後は手に入らない」と説きます。ある読書サイトに「三遊亭鬼丸氏から絶賛をいただきました」とご自身が投稿しています。そのとおりで、佐藤さんの考え方は面白くて素晴らしいです。

私は借家住まいです。子どもが二人いるので少し広めの一戸建てを借りています。将来、子どもが巣立ったら小ぶりな家か、マンションへ夫婦で引っ越そうと考えてます。きっと家賃は下がるでしょうし、仮に同じ家賃を払えばもっと駅の近くに住めそうです。

一方、住宅ローンを組んで家を建てる人も少なくありません。考えてみると、子どもは20歳を過ぎた頃に家を出ていきますが、その後も支払いは残ります。

住宅ローンは長いと35年。子どもが小学生の頃に家を建てたとすると、子どもが住んでいるのは10~15年です。残りの20年間は、物置きのようにになっている空き部屋のためにローンを払っているわけです。生涯結婚しない「子ども部屋おじさん、おばさん」が話題になりますが、それはそれで元はとれている、のかもしれない。

ものは考えようです。さて、皆さんはどんな準備をしますか。



## 三遊亭鬼丸 (さんゆうてい・おにまる)

1972年生まれ。長野県出身、さいたま市在住。故三代目三遊亭圓歌に弟子入り、97年に初高座。

2009年、NHK新人演芸大賞入選。10年、真打に昇進して「鬼丸」を襲名しました。

FM NACK5「GOGOMONZ(ごごもんず)」に出演中です。